

【方向性① 市民の利便性向上】

No	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 外国人市民の利便性向上についてはどのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人市民も含めた市民全体の利便性向上を図ることは課題であり、誰でも分かりやすく使いやすいサービスを提供できるよう先進事例などの研究を進めていきます。また、直接デジタルサービスを利用できなくても、デジタル化による窓口混雑緩和などにより、窓口サービスなどの充実を図ります。

【方向性② 市役所業務の効率化】

No	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<p>施策②情報システムの最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第5条第1項に基づき策定された「地方公共団体情報システム標準化基本方針」に倣い、江田島市の情報システムの標準化の推進を図るための基本的な方針を策定する予定はあるか。 <p>地方公共団体情報システム標準化基本方針によると、2025年度までにデジタル庁が整備するガバメントクラウドを活用した標準準拠システムの移行を目指すとする。</p> <p>基本方針では、ガバメントクラウドを第一に検討すべきとする一方、ガバメントクラウド以外のクラウド環境も条件を満たせばよいとしているが、現在5市町（大竹市、廿日市市、熊野町、安芸太田町、北広島町）と共同利用している基幹系業務クラウドサービスとガバメントクラウドの併用ということにな</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市の情報システムの標準化については、本市独自の方針によらず、国の「地方公共団体情報システム標準化基本方針」に準拠（今後改正される部分も含む。）する予定です。 基幹系業務クラウドとガバメントクラウドの利用については、国の「地方公共団体情報システムのガバメントクラウドの利用に関する基準」に準拠（今後改正される部分も含む。）し、現クラウドサービスを利用している他5市町や同サービスの提供事業者と共同して、経済合理性や機能面を総合的に比較検討します。

	るのか。	
--	------	--

【方向性③ デジタル人材の育成】

No	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<p>施策①デジタルデバイド対策</p> <p>デジタルデバイスを持たない市民への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルデバイド対策としてスマートフォン教室を令和4年度から取り組んでいます。一方で経済的理由等でデジタルデバイスを持たない市民にどう対応するかの視点も重要です。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルデバイスを持たない市民への対応は課題であり、まずはスマートフォン教室で端末を貸し出し、実際に操作を体験していただくことから取り組んでいます。また、直接デジタルサービスを利用できなくても、デジタル化による窓口混雑緩和などにより、窓口サービスなどの充実を図ります。
2	<p>施策③市役所内デジタル人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 市が育成しようとするデジタル人材のレベルを明確化することが必要ではないか。デジタルスキル標準（最低限必要なスキル）の設定はするのか。また、市が求めるデジタル人材の定義について用語説明に追記してはどうか。デジタルビジョンにある程度の指標を示す必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、県及び県内市町と共に、情報システム人材の確保育成に向けて、求められるスキルや役割などの検討を行っています。
3	<p>施策③市役所内デジタル人材育成</p> <p>江田島市人材育成基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年6月に策定した基本方針ですが、デジタルビジョンを策定するにあたり、改訂する予定はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所内デジタル人材の育成は、「江田島市人材育成基本方針」に掲げる「求められる職員像」や「職員に求められる資質・能力」を得るための手段として考えています。デジタル人材育成の目指すべき姿は、「江田島市人材育成基本方針」のとおりです。